

当日資料

2020
まじぐる
かいご 楽 快
(介護) (医療) (ご近所)

開催日：2020年3月7日（土）
10:00～16:30

会 場：西宮市民会館アミティホール

介護と医療とご近所（地域）が楽しく・愉快地にまじくります。介護・医療現場の最前線にいる講師陣や元気介護家族が介護・医療の“今”を語ります。
明日からの介護が明るくなるのは間違いなし。

**主催：特定非営利活動法人つといて場さくらちゃん
医療法人社団裕和会 長尾クリニック**

共催：社会福祉法人西宮市社会福祉協議会

後援：西宮市

社会福祉法人兵庫県社会福祉協議会

兵庫県宅老所 グループホーム・グループハウス連絡会

令和2年3月7日に想うこと



「介護保険」が始まって20年目。
「か（介護）い（医療）ご（ご近所）楽快」も12回目になりました。
三好春樹氏の「オムツ外し学会」を西宮で開催させていただいた時のアンケートに、
介護職の方々から「家族の話を聞いたのは初めて」の声が多く・・・それはない
でしょ！？「介護」の要の介護者家族の声を聴いていない介護職には「？」「？」「？」
＜想い＞の中の＜怒り＞から「つどい場さくらちゃん」をスタートさせて17年目になります。

「介護」の要は「介護者家族」・・・この20年間で“お任せ”体質が浸透してしましました。「介護」を受けているご本人の最期の迎え方の、人生の終い方の話を家族と話し合って欲しい（人生会議＝ACP）

そこで今回の「か（介護）い（医療）ご（ご近所）楽快」は、
～美味しい人生の終い方～ちゃんと生きて・ちゃんと死のうを全国からお忙しい講師の皆様にご登壇いただき、皆さまと共に考えましょう！！

感情の吐露（グリーフケアも含め）と今の情報を得られる＜つどい場＞これからの時代こそ必要なく場＞

お忙しい中ご登壇下さった皆さんへ！

今日1日全国からご参加下さって＜まじくって＞下さった皆さんへ！

知恵とお力を貸して下さい「実行委員会」の皆さんへ！

早朝から貴重な時間を下さったボランティアの皆さんへ！

この当日資料に＜広告掲載＞下さった方々へ！

心から感謝を込めて、ありがとうございました。

よし、よし！！！！

令和2年3月7日

つどい場さくらちゃん まるちゃん



/近江化成工業(株) 販売代理店

プログラム

開会挨拶 つどい場さくらちゃん 理事長 丸尾多重子

ご挨拶 石井登志郎 西宮市長

＜司会＞ 水野 晶子さん（フリーアナウンサー）

①ちゃんと死のう！

10:10～10:50

「普通に暮らし・安心して逝ける」

西山 裕規さん（ホームホスピス愛逢の家）

②そのためにはちゃんと生きよう！

10:50～12:10

「どこで過ごす①」

飯島 恵子さん（ゆいの里）

「どこで過ごす②」

下川 孝志さん（静内ケアセンター）

③チャリティーセミナー

「人生会議“ACP”って何？」

12:10～13:30

@市民会館中会議室401

長尾クリニック院長 長尾 和宏さん

別途1,000円（さくらちゃん支援金）先着100名

12:20～13:20

「遺品整理の現場から見える地域コミュニティ」

～数々の現場を見てきた整理人が希薄化する地域の繋がりを熱く語る！～

横尾 将臣さん（メモリーズ株式会社）

④声を聴いて、考えよう！

13:30～15:20

「介護者の声を聴こう！」

実積 真由美さん

岡崎 真理子さん

杉原 智子さん

「行政・社協の取り組みを聴こう！」

吉田 一平さん（愛知県長久手市長）

川瀬 聖志さん（新潟県新発田市社協）

座長 川本 健太郎さん

（神戸学院大学総合リハビリテーション学部准教授）

竹内 友章さん

（東海大学健康学部マネジメント学科助教）

⑤皆！集まれ！ぶっちゃけトーク！

15:25～16:25 登壇者全員&つどい場さくらちゃん



★交流会（出張つどい場）：17:00～19:00★ 先着100名まで（会費3,000円）

[場所：市民会館4階中会議室401]

登壇者からのメッセージ

西山 裕規さん

NISHIYAMA HIROKI

ホームホスピスは、“とも暮らしの家”と呼ばれています。とも暮らしの“とも”には、友達、共同、伴走の3つの“とも”の意味が込められてあり、ホームホスピスという住まい（居場所）で、住人を中心に関わる人たちが、ともに過ごし、ともに関わり合う暮らしの営みのことを指しています。住人が地域の中で築いてきた慣れ親しんだ関係性を最期まで継続しながら、新たな関係性が生まれたり育てていけたりするのがとも暮らしのいいところかなと思います。そんな自分にとっての大切なとも暮らしの輪が広がることで、愛逢の家も、みなさんのお家も、そして地域も、「普通に暮らし、安心して生きて逝く」ことが当たり前になることを願って日々活動しています。ちゃんと死ぬ、生きるための答えなんてありません。かいご学塾でたくさん学んで、みんなと一緒に考えて、話し合っていきましょう。わたしも、自分の死に方、生き方が見つかっていくのを楽しみにしています。



<プロフィール>

尼崎で、普通に暮らし安心して逝けるホームホスピス愛逢の家管理者。“みとりを身近にをコンセプトに地域住民とのつながりやみとりまち実行委員としても活動中。

飯島恵子さん

IJIMA KEIKO

1996年～「ほっとすっぺ!」を合言葉に子育てや介護の仲間と『ゆいの里』の活動スタート。まちの中の居場所「ホットスペースゆい」は、障害のある人もない人も認知症の人も赤ちゃんから高齢者、地域の人も一緒にささえあう共生型だった。2000年～介護保険の波に乗ったつもりが飲みこまれ、羽をもぎられ、走りながら考えるというので仲間たちとこけつまろびつ、高齢者や認知症の人が主体になる安心な環境を手づくりしながら、学びながら一生懸命走りまわりました。2005年～「街中サロンなじみ庵」は、元気なまちづくり事業、介護保険に縛られないまちの中のお店。高齢者の高齢者による高齢者のための居場所は「ケアされる人からささえあう人へ」「行きたい所がある 会いたい人がいる」の合言葉が生まれた11年。そして、これから、昭和や平成の高齢者から、令和の高齢者が安心して（納得して）集える居場所や通う場所を模索中。一緒に考えませんか？



<プロフィール>

栃木県で、「ほっとすっぺ!」を合言葉にケアマネジャーとしてまるとケアのまちづくりに取り組んでいる。現在は、子育てや介護の仲間と『ゆいの里』を結成。

下川孝志さん

SHIMOKAWA TAKASHI

「私に与えられた道」

今でこそ、石飛幸三先生や長尾和宏先生の行動があり「平穏死」が理解され出しています。私が2000年から介護事業を始めたのですが、その時に（故）山田茂医師との出会いがあったのですが、その時期から「訪問診療」を積極的に実践されており、山田医師は「記憶に残る患者さんの死が、在宅ではかなり鮮やかなものとして思い出される割に、病院での死はどちらかというと誰のそれでも同じようなものになってしまう。家族に看取られて自宅で死ぬ、昔は当たり前だった。病院で死なないことこそが、最後に私たちが選択できる「幸せな死」なのではないだろうか」の言葉を残された。私たちは家族が希望すればホームでの看取りを実践していたが、そんな頃の2012年に石飛幸三先生や長尾和宏先生にお会いし「平穏死」という言葉を知る。私たちの実践がまさに「平穏死」の取組であり、今は普通の事として理解されるようになってきた。山田クリニック二代目の富部勝医師も同じ考えであり、老衰末期には「容態の急変時には救急車を呼ばないで、私を呼びなさい」と言っており、我がホームでは医療介護連携の下で毎年10人前後の「平穏死」による看取りがおこなわれている。



<プロフィール>

北海道新ひだか町会議員、有限会社静内ケアセンター代表。現在は、「福祉村構想」に取り組み、グループホーム等多数の介護事業、看取り実践に取り組んでいる。

長尾和宏さん

NAGAO KAZUHIRO

「著書『安楽死特区』について」

死にたい、と願うのはエゴですか？生きていて、と望むのは愛ですか？このごろ、「早く日本でも安楽死を認めてほしい」という人が増えた。その先にどんな未来が待ち受けているのか、書きたかった。2024年、日本で「安楽死法案」が可決した。東京オリンピックが終わり、疲弊してゆくわが国で、病を抱え死を願う男と女が、国家の罅に落ちてゆく……。

今日はみんなで楽しく語り合いましょう!



<プロフィール>

医療法人社団裕和会理事長、長尾クリニック院長、医師。尼崎市で複数の医師とともに年中無休の外来診療と在宅医療を営む。著書『痛い在宅医』は高橋伴明監督、映画『痛くない死に方』として2020年に公開予定。

司会者の紹介

水野晶子さん

MIZUNO AKIKO

MBS アナウンサー時代、報道を中心に活動。「つどい場さくらちゃん」を取材、まるちゃんや長尾医師に出会う。2018 年末に定年退職し、フリーに。

MBS ラジオ「しあわせの五七五」（土曜朝 5 時）「弁護士の放課後」（月曜午後 6 時半）、「しあわせ散歩」（日曜夜 9 時半）では医療や介護の情報を届ける。

北浜「雲州茶論」で高田郁書き下ろし作品の朗読、取材して紡ぐ「ドキュメンタリー朗読」、落語などライブを毎月開催。詳しくは「雲州堂 イベント」で検索してね!



登壇者からのメッセージ

実積真由美さん

JITSUZUMI MAYUMI

4 年余り特養に入所していました母はユニット No.1 の暴れん坊婆ちゃん、私は特養への通勤が日常になり、特養の舞台裏を覗いて疲弊していました。その頃に著書「平穏死の 10 の条件」を拝読、更に「さくらちゃん」へ出向き、近隣で母と私の想いを叶えて下さる先生を見つけて特養を脱出しました。

認知症と介護が大嫌いだった私ですが、たくさんの人に支えて頂き、とても充実した楽しい 2 年余りの在宅介護でした。3 度目のお正月を迎えた後に見事な大往生で驚くほど穏やかに逝きました。この体験から、誰もが穏やかな最後を迎えられるよう願っています。

岡崎真理子さん

OKAZAKI MARIKO

2009 年に初期の認知症と診断された母は、その後、脳梗塞を起こし、感情を露わにするようになりました。知識もないままに突然始まった介護。仕事との両立は大変でした。しかしさくらちゃんに出会ってからは、介護の知識を学ぶだけでなく、悩み事や愚痴を聞いていただき心強いです。今は小規模多機能型の施設を利用しながら仕事との両立をはかっています。暴れん坊の母ですが、元気にいてくれることに感謝しつつも、次のステップに進んだ時のことも考えておかななくてはと思っています。

杉原智子さん

SUGIHARA TOMOKO

一昨年の秋 父が希望通り家で旅立ちました。30 代から始まった私の 20 年近い両親を支える日々も卒業することになりました。脳出血で要介護 5 の母を、在宅で共に介護していた父が脳梗塞で倒れた時は途方に迷いました。それでも両親をダブル介護しながらフルタイム勤務の日々を続けましたが、どうしても時間のやりくりが難しくなり介護離職。母が亡くなってから 14 年。父との介護の日々は最初はたくさんの困難の連続でした。穏やかな母の介護と違って暴れん坊でじっとしていられない父。気に入らないことがあるとパンチ・キックがとんできました。家にいても「家に連れて帰れ!」という父の車椅子を毎日押して歩きました。頑張れば頑張るほど孤立していく日々でした。このままじゃいけない。介護があっても私らしい暮らしを!と色々なことに挑戦しました。セルフケアプラン、介護家族の音楽の集い、私の相棒 柴犬…介護が終わって思うのは、私はたくさんのいい出会いに支えてもらってたんだなあということです。いっぱい理不尽なこともあります。でも、その経験も私を育ててくれたのだと思います。今、介護中の皆さんにいい出会いがありますよう願っています。

登壇者からのメッセージ

吉田一平さん

YOSHIDA IPPEI

市長になる前、私は、商社マンを経た後、幼稚園や高齢者施設の運営に携わりました。その経験の中で、世の中には家庭や地域、子ども、高齢者のいる「暮らしの場 時間に追われない国」と学校や企業、役所など働く人のいる「仕事の場 時間に追われる国」の 2 つがあると気付きました。

この 2 つの国の価値観は、「多様な人がいる」⇔「同質の人を集める」、「存在そのものが大切」⇔「能力に価値がある」等、まるで正反対です。

人生 60 年の時代、定年後の余命期間は短く、「時間に追われる国」の価値観のままで過ごしても問題はありませんでした。人生 100 年の時代は、定年後の長い期間を「時間に追われない国」で暮らすことになります。しかし、会社に引きこもってきた男性の多くは、価値観を変えられず、その結果、配偶者の体調まで悪くなることもあります。何歳になっても、役割と居場所が大切です。誰もが「あなたが必要なんだ」と言われるまにしたいと考えています。



＜プロフィール＞
愛知県長久手市長。
商社マンとして 15 年勤務。
消防団活動を通じて、自治の大切さに目覚め、高齢者福祉、子育て、多世代交流の場づくりや地域づくりを実践。

川瀬聖志さん

KAWASE SATOSHI

社会福祉協議会の職員として、地域に人にとっぴり浸かって 12 年。新発田市では、少子高齢化が急速に進み、若者が町から旅立ち、独居高齢者世帯数の増加や核家族化の進展によって、地域では人が減少し、空き家が増え、隣近所や親族とのつながりも希薄化しつつあります。

このような状況は、新発田市に限らず地方都市ではよく聞く話。結果、様々な社会的要因によって、地域では社会的孤立状態が生じやすくなっていると感じています。

そのため、今まさに向き合っているのが、このような社会的孤立（誰にも相談ができにくい状態）から、空き家に至るまでのプロセスで、何かのきっかけがあれば、家族や専門職、社協など誰かに相談ができ、最期まで自分らしく暮らし続ける一助になるのではないか。個人の不安や悩みの整理それこそが、社会的孤立の「予防」と「解消」のきっかけになるのではないかと考えています。

そんな地域を目指して、専門職や行政などと連携した ONE TEAM で、総合相談会・セカンドライフ応援講座・あんしんハンドブックの普及啓発など、「生前整理の仕組みづくり」や「エンド・オブ・ライフプランの推進」に取り組んでいます。



＜プロフィール＞
新潟県新発田市社協職員。
生前整理の仕組みづくりや専門職のネットワークの構築など、多世代参加型プログラムの開発に取り組んでいる。

2020 まじくる かいご楽快 広告協賛一覧


メモリーズ
 安心の遺品整理専門業者
 代表取締役
横尾 将臣
 Masatomi Yokoo
 メモリーズ株式会社 ☎0120-23-2580
 本社・倉庫/〒590-0907 大阪府堺市堺区緑町2-121-2 TEL 072-225-1199 FAX 072-225-1369
 神戸営業所/〒651-0093 神戸市中央区二宮町2-12-4 TEL 078-252-1919 FAX 078-252-1919
 奈良営業所/〒639-3446 奈良県吉野郡吉野町菜摘152-2
 名古屋営業所/〒451-0021 愛知県名古屋市中区天塚町4-63

●生命保険・損害保険の販売を通じて
介護のお手伝いをいたします。

株式会社 池田保険事務所

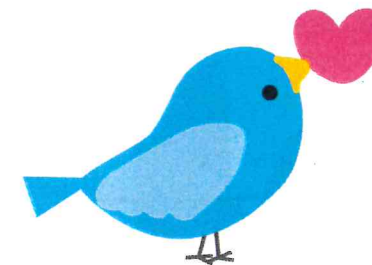
兵庫県 西宮市 戸田町 1-24
 TEL: 0798-35-6550
 FAX: 0798-35-6530
 阪神西宮駅前 市役所出口から徒歩1分



人間味の菓子づくり


TSUMAGARI

〒662-0015
 兵庫県西宮市甲陽園本庄町6-38
 TEL 0120-221-071 FAX 0798-72-1846
<http://www.tsumagari.co.jp/>




 目に気づきと温かさを 指先に優しさと真心を
株式会社クオレ
www.cuores.com

まるちゃん ^{おう えん たい} 桜縁隊

スタッフみんなで応援しています!!



隊長(代表取締役)
辻本厚生

ークオレは介護・調剤薬局事業の会社ですー
 〒555-0034 大阪市西淀川区福町2丁目3番15号
 TEL.06(6474)1950 FAX.06(6474)1970



ABILITIES アビリティーズ・ケアネット
 株式会社 阪神営業所

最新の福祉機器、介護用品、バリアフリー機器を
 展示しています。福祉用具レンタル・住宅改修も
 ご相談ください。様々な勉強会、セミナーも開催
 しています。

お問い合わせ、ご来場お待ちしております。

〒663-8243 兵庫県西宮市津門大筒町
 4番10号 安田ビル II号館 1階
 TEL 0798-37-1971 FAX 0798-37-1972

【NTT 東日本と業務提携】2020年1月サービス開始!!

クイックギガ Wi-Fi

ビジネスには、ビジネス向けの Wi-Fi を!
 365 日プロがサポート! **便利・安心・安全**

第一電子株式会社 Tel.0120-743-506
<http://www.ddk.ne.jp/>

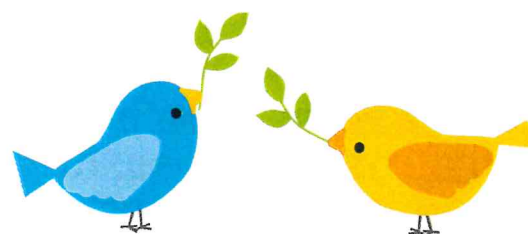


 バリアフリーで世界へ、日本へ
障がいのある方及びご高齢の方専門ツアー会社です
【電話】052-222-7611 【FAX】052-212-2778
【メール】heart@tictravel.co.jp

「つどい場さくらちゃんと
旅行企画をしています。
年に一回、今まで、北海道、
沖縄、台湾、韓国へ行きました」



TIC (株) チックトラベルセンター／ハートTOハート
観光庁長官登録旅行業第735号／日本旅行業協会正会員
〒460-0003 名古屋市中区錦1-20-19 名神ビル



伝承の「技」と「心」を刻む

株式会社 岡崎石材店

代表取締役 井上 薫 嘉

〒662-0025 西宮市北名次町6-46
TEL.(0798)71-0077~8
FAX.(0798)72-5715



お気軽にご相談ください!

口から
食べられない

むせる

誤嚥性肺炎
など



嚥下内視鏡検査

- 個別送迎サービス(一部地域)
- 訪問歯科診療 **実施中**

対象エリアなどはお問い合わせください。



年中無休

0798-65-1971

ナチュラルスマイル 西宮北口歯科®

P 無料 阪急西宮北口駅直結 アクタ西宮 東館2F

新たな可能性を開く、福祉サービスを皆さまへ

私たちゆめみらいグループは、グループの個々の力を高め、
グループ全体で社会の多様なニーズに速やかに対応することにより、
一層社会に信頼され、必要とされる企業を目指してまいります。



ゆめみらいグループ

<http://www.yumemirai-group.co.jp/>



実行委員会 メンバー

粟野 真造 西長洲荘主任介護支援専門員 / 傾聴コミュニケーション研究会まど代表
 北村 浩子 ケアマネセンターながお 所長
 竹内 友章 東海大学健康学部健康学科助教 / つどい場さくらちゃん理事
 中島 淳美 医療法人明和病院 訪問看護センター明和 看護師主任
 中島 康江 地域活動者
 牧野 葵 西宮市社会福祉協議会 地域福祉課 地域福祉係
 港谷 泰之 医療法人社団裕和会 長尾クリニック広報
 森 美月 関西学院大学人間福祉研究科大学院生
 山内 なぎさ 西宮市社会福祉事業団 甲東地域包括支援センター 相談員
 植村 弘巳 つどい場さくらちゃん監事
 丸尾 多重子 つどい場さくらちゃん理事長
 つどい場さくらちゃん事務局

特定非営利活動法人 つどい場さくらちゃん

～ご支援宜しくお願いします～

つどい場さくらちゃんは皆様の会費で運営されています

正会員 一個人: 1口 3,000円 団体: 1口 10,000円

賛助会員 一個人: 1口 1,000円 団体: 1口 3,000円

《郵便振替》

口座番号: 00900-3-166692

口座名称: 特定非営利活動法人つどい場さくらちゃん



〒662-0972 西宮市今在家町1-3
 TEL・FAX: 0798-35-0251
 Email: sakurachanmaru@bca.bai.ne.jp
 HP: <http://www.tsudoiba-sakurachan.com/>

阪神電車西宮駅
 東出口(市役所口)南西すぐ

